

若宮神社 改築記念

(令和2年6月13日再改訂)

明理川庄屋始祖一色家
若宮神社

平成の大普請 落成
平成十八年二月二十六日

出席者(当主のみ記載)
本家
一色 春忠
一色 尋匡
一色 秋俊
一色 繁隆
一色 政仁
一色 正信
一色 恒文
一色 磯一
一色 昇二
一色 昇夫
一色 静實

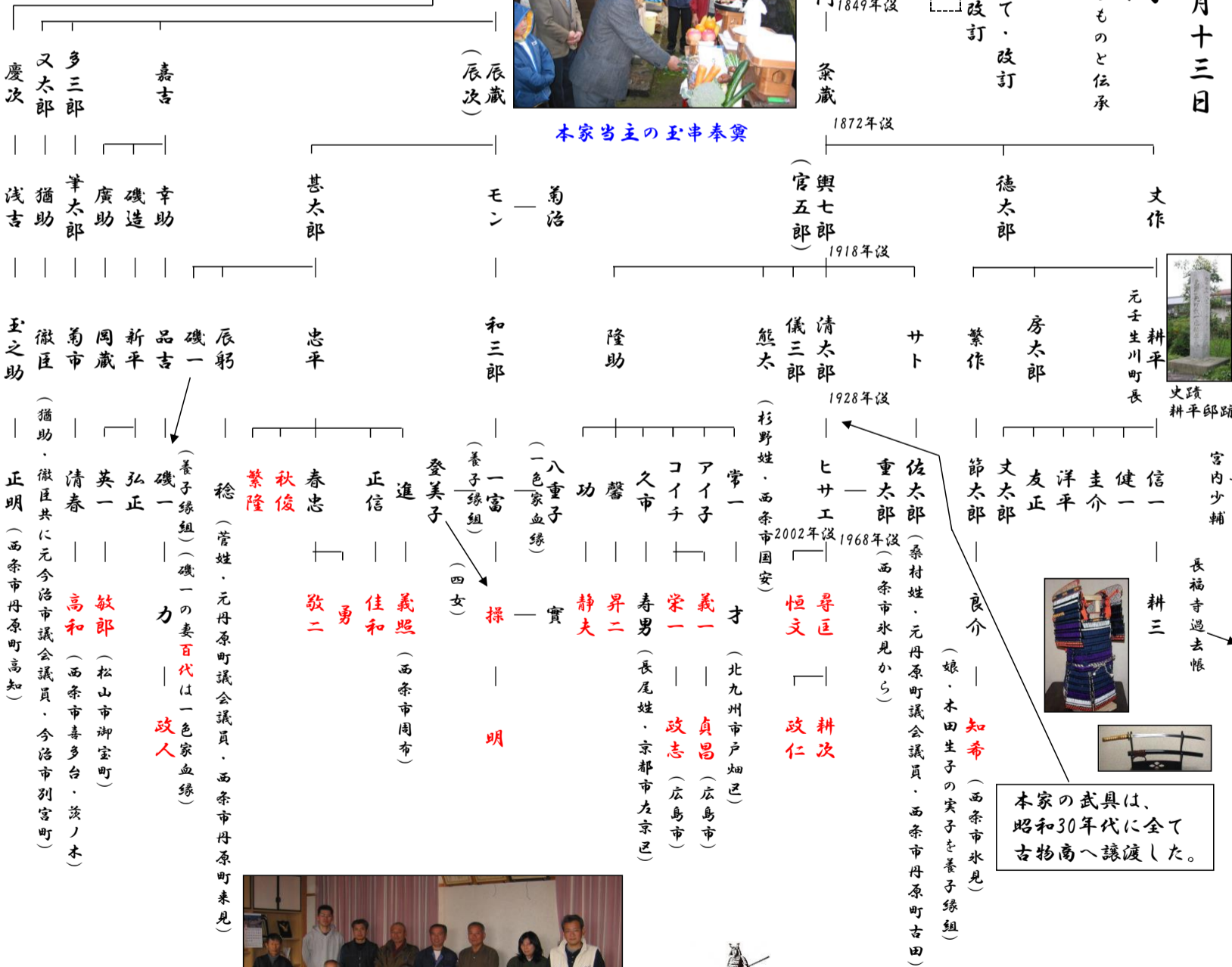


本家屋敷内の若宮神社

近年、旧暦の6月13日に執り行われていた先祖祭は、最寄りの日曜日に開催。当日は御奉納帖に出席者名記載。



本家当主の玉串奉奠



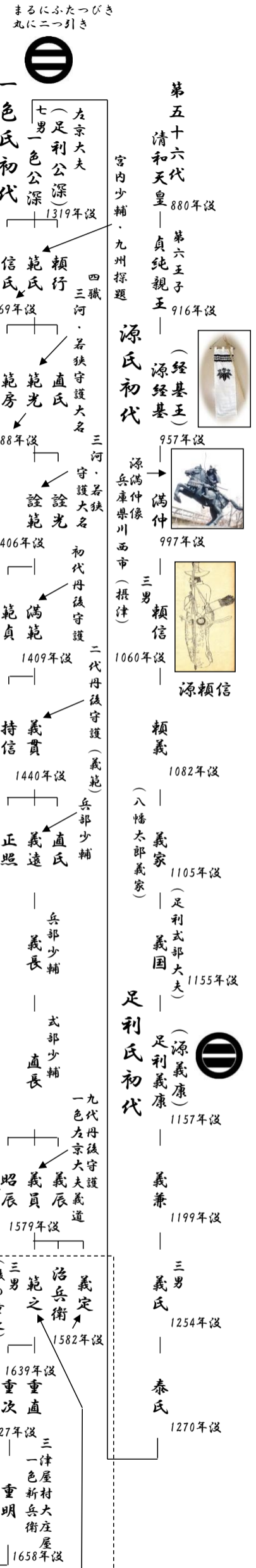
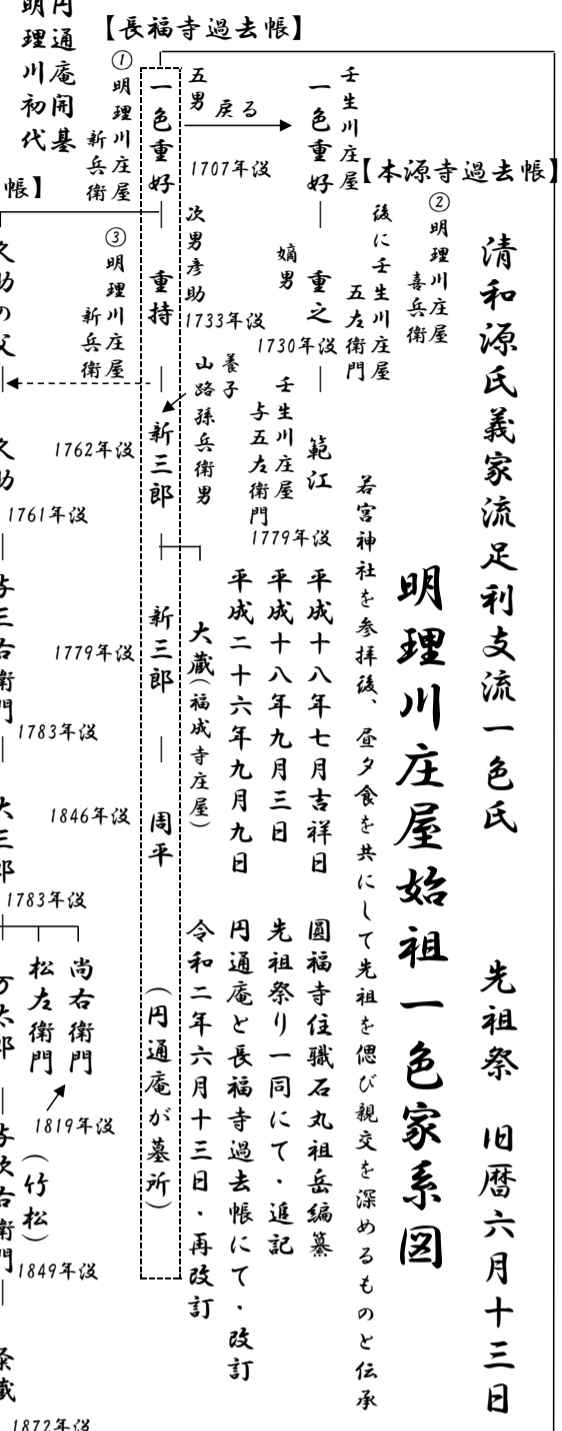
先祖祭御奉納帖(百五拾余年の名簿)



出席者(落成式典後)

1611年没 豫州重之流一色氏始祖 一色右馬三郎重之

天正8年、戦国武将一色右馬三郎重之(後の重之)は丹後国弓木城の落城前に外祖父である河野通泰との縁により、子の重直・重次(6歳双子)、家臣赤澤某、伊藤嶋之助、佐和小十郎等十余名を連れ、豫州(伊予国)宇摩郡へ来た。当時新居郡の旗頭であった石川氏の食客となり新居郡荻生村に居位。そして、代官となっていた重之は命により古城に居た北条の地頭越智助左衛門を討って移り住み、そこを「三ツ屋」と称した。



1611年没 豫州重之流一色氏始祖 一色右馬三郎重之

